

〈作 品〉

NIGHT×LIGHT

前 田 夏 樹

Natsuki MAEDA : NIGHT×LIGHT

本作品は、私の好きな景色である「夜景」をテーマに制作した。本文は作品制作における、制作方法やコンセプト等を記したものである。

キーワード：夜景 ぶれ 携帯電話のカメラ アクリル板 ステッカー

私の好きな景色のひとつに「夜景」がある。闇の中に浮かび上がる街灯の明かり、建物の窓からこぼれる光、車のライトから伸びる光の帯など、「夜景」を構成する重要な要素である「夜の光」に強く心を惹かれる。そして、これを作品のテーマとして表現したいと考えていた。

本作品は、このような考えを作品として表現したものである。

作品は数十枚の写真で構成されている。これらの写真は、撮影時のアクシデントとも言える「ぶれ」を利用したもので、これを意図的に起こすことによって、光の残像を作り出したものである。

写真の配置方法は、基本的にグリッドに沿ってレイアウトしたもので、これによって、シンプルで、落ち着いた理性的な印象となるようにした。しかし、これだけでは全体が単調になることが考えられるため、写真のサイズや形、配置場所に変化をもたせ、さらに写真を加工し、文字を加えることで、全体的に動きを持たせるよう考慮した。

また全ての写真は携帯電話のカメラを使用して撮影したものである。現在携帯電話のカメラは、中高生を中心に一般的に広く普及しており、その性能も年々進化している。カメラの性能が作品の制作に耐えうるものであるということも使用理由のひとつであるが、過去には一般的でなかった携帯電話のカメラ

を使用することで、「今」という時代を作品に反映させたいという考えが主となる理由である。

作品には厚さ5mmのアクリル板をパネル表面から2cmの空間を持たせて配置し、アクリル板上には、本作品のタイトルである「NIGHT×LIGHT」の文字をステッカー形式で配置した。

文字をステッカー形式にしたのは、当初のコンセプトとして、さまざまな種類のステッカーを用意し、これを作品の配置場所や気分に合わせて変更することができるというものを考えていたからである。実際に文字の種類を変更したものや、マーク、キャッチコピーなどを制作したが、作品の出品規格に合わず、使用できなかった。

アクリル板とパネルの2cmの空間はパネル上の画像と、アクリル板上の文字が異なる空間にあるということを強調し、またステッカーがパネルに落とす影が、作品に新しい表現方法を加えるものとなった。

本作品は「夜景」をテーマとした表現のひとつであり、今後もさまざまな表現方法や素材を模索し、常に新鮮な作品制作を心がけたい。

本作品は第49回鳥取県美術展覧会において奨励賞を受賞することができた。制作にあたり、さまざまな形でご指導、ご協力いただいた諸先生方や友人に感謝を申し上げます。



「NIGHT×LIGHT」 760×1070

前 田 夏 樹